

6月19日 (水) 13:05-13:10

第1会場 (4F ホールB)

開会式

6月19日 (水) 13:10-14:50

第1会場 (4F ホールB)

フラッシュトーク

6月19日 (水) 15:00-16:00

第1会場 (4F ホールB)

基調講演

次世代のがん分子標的治療薬に向けて

【モデレーター】 吉田 稔 (国立研究開発法人理化学研究所/東京大学大学院農学生命科学研究科)

K	次世代のがん分子標的治療薬に向けて.....44
	大和 隆志 エーザイ株式会社

6月19日 (水) 16:00-16:30

第1会場 (4F ホールB)

教育講演 1

酵素活性の活用による新たながんセラノスティクス医療の創製

【モデレーター】 今村 健志 (愛媛大学大学院医学系研究科 分子病態医学講座)

RS1	酵素活性の活用による新たながんセラノスティクス医療の創製.....46
	浦野 泰照 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 東京大学 大学院薬学系研究科 <sup>2</sup> 東京大学 大学院医学系研究科

6月19日 (水) 16:30-17:00

第1会場 (4F ホールB)

教育講演 2

セルオミクス技術の発展と医学生物学応用

【モデレーター】 矢野 聖二 (金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学)

RS2	セルオミクス技術の発展と医学生物学応用.....46
	洲崎 悦生 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 順天堂大学大学院医学研究科 生化学・生体システム医科学 <sup>2</sup> 理化学研究所生命機能科学研究センター 合成生物学研究チーム

6月20日 (木) 7:55-8:55

第1会場 (4F ホールB)

モーニングセミナー1

術後療法としてのアベマシクリブ

【モデレーター】 田辺 真彦 (東京大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科)

MS1 術後療法としてのアベマシクリブ  
九富 五郎  
順天堂大学大学院医学研究科 乳腺腫瘍学

【共催】 日本イーライリリー株式会社

6月20日 (木) 9:00-9:30

第1会場 (4F ホールB)

Year in Review 1

スプライシング異常を標的としたがん治療法開発の最新動向

【モデレーター】 片山 量平 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター 基礎研究部)

YIR1 スプライシング異常を標的としたがん治療法開発の最新動向.....47  
吉見 昭秀  
国立がん研究センター 研究所 がんRNA研究分野

6月20日 (木) 9:30-11:50

第1会場 (4F ホールB)

シンポジウム1

日本発サイエンスの迅速な社会実装に向けて

【モデレーター】 間野 博行 (国立研究開発法人国立がん研究センター 研究所)  
清宮 啓之 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター 分子生物治療研究部)

S1-1 バックキャスト型シーズ開発の挑戦.....51  
土原 一哉  
国立がん研究センター 先端医療開発センター

S1-2 日本初のマイクロ RNA 核酸医薬の社会実装への挑戦.....51  
田原 栄俊  
広島大学・大学院医系科学研究科・細胞分子生物学研究室

S1-3 最新 CAR-T 細胞療法の進展と将来展望 .....52  
玉田 耕治<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学 大学院医学系研究科 免疫学講座  
<sup>2</sup>山口大学 細胞デザイン医科学研究所

S1-4 「日本の産官学連携の課題」を踏まえた「日本型のイノベーション実装化」 .....52  
森下 大輔  
Chordia Therapeutics株式会社

S1-5 抗がん剤の審査等に係る最近の PMDA の動き .....53  
柳沼 宏  
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

6月20日 (木) 12:00-13:00

第1会場 (4F ホールB)

ランチョンセミナー1

工学と医学の進歩が切り拓く肺がん治療

【モデレーター】 西尾 誠人 (公益財団法人がん研究会 有明病院 呼吸器センター 呼吸器内科)

LS1-1 進展型小細胞肺癌治療の治療戦略

北園 聡

公益財団法人がん研究会 有明病院 呼吸器センター 呼吸器内科

LS1-2 抗体工学と二重特異性抗体：現状と今後

津本 浩平

東京大学 大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻

【共催】 アムジェン株式会社

6月20日 (木) 13:05-13:35

第1会場 (4F ホールB)

総会・鶴尾隆賞・研究奨励賞授与

6月20日 (木) 13:35-14:20

第1会場 (4F ホールB)

鶴尾隆賞受賞講演

泌尿器がんの分子・細胞生物学的解析による分子標的治療への展開

【モデレーター】 吉田 稔 (国立研究開発法人理化学研究所/東京大学大学院農学生命科学研究科)

T 泌尿器がんの分子・細胞生物学的解析による分子標的治療への展開

大家 基嗣

慶應義塾大学医学部泌尿器科

6月20日 (木) 14:20-16:40

第1会場 (4F ホールB)

シンポジウム2

女性科学者シンポジウム 発信しよう！女性科学者の研究力

【モデレーター】 永澤 秀子 (岐阜薬科大学創薬化学大講座 薬化学研究室)

後藤 典子 (金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野)

S2-1 EWS::FLI1 の RNA 安定制御に着目した核酸療法の開発 .....54

河知 あすか、吉見 昭秀

国立がん研究センター がんRNA研究分野

S2-2 近接細胞蛍光標識技術を用いた転移微小環境内でがん細胞と周辺細胞相互作用の解析 .....54

峯岸 美紗<sup>1,2</sup>、門之園 哲哉<sup>3</sup>、近藤 科江<sup>3,4</sup>

<sup>1</sup>理化学研究所 開拓研究本部

<sup>2</sup>京都大学 医生物学研究所

<sup>3</sup>東京工業大学 生命理工学院

<sup>4</sup>奈良工業高等専門学校

S2-3 トリプルネガティブ乳癌において MUC1-C はクロマチン調節を介してインターフェロン経路の慢性活性化および治療抵抗性を制御する .....55

山下 奈真<sup>1,2</sup>、森本 祥悠<sup>1</sup>、伏見 淳<sup>1</sup>、原武 直紀<sup>1</sup>、Long Mark<sup>3</sup>、Kufe Donald<sup>1</sup>、上野 貴之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>ダナ・ファーバーがん研究所

<sup>2</sup>がん研有明病院 乳腺外科

<sup>3</sup>ロズウェル・パークがんセンター

S2-4	<b>がん微小環境を構成する CD8 T 細胞の遊走制御に関わる新規ケモカイン受容体シグナル制御分子 R1-15 の同定</b> .....55 遠田 悦子 <sup>1,2,3</sup> 、寺島 裕也 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 日本医科大学 研究部共同研究施設 形態解析研究室 <sup>2</sup> 日本医科大学 解析人体病理学 <sup>3</sup> 東京理科大学 生命医科学研究所
S2-5	<b>グリオーマニッシェ別がん幹細胞を標的とした新規治療薬の同定</b> .....56 津田 真寿美 <sup>1,2</sup> 、田中 伸哉 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室 <sup>2</sup> 北海道大学化学反応創成研究拠点
S2-6	<b>3次元腫瘍-血管モデルによる血管内外浸潤ステップの可視化</b> .....56 松永 行子 東京大学 生産技術研究所
S2-7	<b>T 細胞を活性化する抗体医薬品の創製</b> .....57 櫻井 実香 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 中外製薬株式会社 研究本部 バイオ医薬研究部 <sup>2</sup> 中外製薬株式会社 TR本部 プロジェクト推進部
S2-8	<b>細胞内小胞輸送の阻害によるがん微小環境の制圧</b> .....57 田中 美和 がん研究会 がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト

6月20日 (木) 7:55-8:55

第2会場 (4F ホールA)

モーニングセミナー2

Development and Design of Personalized Vaccines for the Treatment of Advanced Non Small-Cell Lung Cancer

【モデレーター】 清谷 一馬 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究センター)

MS2 Development and Design of Personalized Vaccines for the Treatment of Advanced Non Small-Cell Lung Cancer

Gregory A. Lizee

Division of Cancer Medicine, The University of Texas MD Anderson Cancer Center

【共催】 TOPPANホールディングス株式会社

6月20日 (木) 9:00-9:30

第2会場 (4F ホールA)

Year in Review 2

標的蛋白分解誘導薬の動向と展望

【モデレーター】 根東 攝 (中外製薬株式会社 メディカルアフェアーズ本部メディカル PHC 推進部)

YIR2 標的蛋白分解誘導薬の動向と展望.....47

田中 実

田辺三菱製薬株式会社

6月20日 (木) 9:30-10:00

第2会場 (4F ホールA)

State-of-the-Art Technology Seminar 1

超高感度質量分析法の応用による抗体医薬品糖鎖の定量評価

【モデレーター】 西尾 和人 (近畿大学医学部 ゲノム生物学)

SAT1 超高感度質量分析法の応用による抗体医薬品糖鎖の定量評価.....49

芳賀 淑美

公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター

6月20日 (木) 10:00-10:55

第2会場 (4F ホールA)

ワークショップ1

免疫療法・細胞療法

【モデレーター】 早川 芳弘 (富山大学 和漢医薬学総合研究所)

W1-1 ER 発現はホルモン受容体陽性乳がんにおける免疫チェックポイント阻害療法の新たな予測バイオマーカーになりうる.....63

有馬 純<sup>1,3</sup>、猪俣 陽介<sup>1</sup>、谷口 高平<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学教室

<sup>2</sup>大阪医科薬科大学 医学研究支援センター TR部門

<sup>3</sup>ロズウェルパークキャンサーセンター

W1-2 非小細胞肺がんにおける複合免疫療法後のドセタキセル、ラムシルマブ併用療法の検討：多施設共同前向き観察研究.....63

片山 勇輝、澤田 凌、森本 健司、山田 忠明

京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学

- W1-3 マルチペプチドワクチン IMA950 と抗 CD27 アゴニスト抗体 verilumab の併用療法は低悪性度神経膠腫における T 細胞免疫応答を誘導する .....64  
 荻野 広和<sup>1,2</sup>、西條 敦郎<sup>1,2</sup>、西岡 安彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野  
<sup>2</sup>カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科
- W1-4 Fibrocyte 分化を標的とした免疫排除克服への新規治療探索 .....64  
 三橋 惇志<sup>1</sup>、荻野 広和<sup>1</sup>、矢葺 洋平<sup>1</sup>、尾崎 領彦<sup>1</sup>、軒原 浩<sup>2</sup>、西岡 安彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野  
<sup>2</sup>国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科
- W1-5 代謝シフトによるがん細胞の免疫回避機構 .....65  
 早川 芳弘<sup>1</sup>、横山 悟<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>富山大学 和漢医薬学総合研究所  
<sup>2</sup>富山大学 薬学部 がん細胞生物学

6月20日 (木) 10:55-11:50

第2会場 (4F ホールA)

## ワークショップ3

## 核酸医薬・ペプチド創薬・タンパク質分解創薬

【モデレーター】 浜本 隆二 (国立がん研究センター研究所 医療 AI 研究開発分野)

- W3-1 がん抑制因子の持続的抑制活性を利用した BIG3-PHB2 相互作用標的ペプチド創薬 .....68  
 吉丸 哲郎<sup>1,2</sup>、松下 洋輔<sup>1,2</sup>、内山 圭司<sup>1,2</sup>、片桐 豊雅<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所  
<sup>2</sup>徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野
- W3-2 BRAF 阻害剤の感受性に影響を与える long non-coding RNA の網羅的スクリーニング .....68  
 加藤 俊介  
 順天堂大学 大学院 医学研究科 臨床腫瘍学
- W3-3 口腔扁平上皮癌における microRNA-1260a の発現機能解析 .....69  
 白井 博之、中城 公一、徳善 紀彦、雑賀 将斗、内田 大亮  
 愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座
- W3-4 PRDM14 分子を標的とする革新的 siRNA 医薬による難治性乳がんの治療法開発 .....69  
 高橋 俊二  
 公益財団法人がん研究会有明病院 総合腫瘍科
- W3-5 多量体型チロシンキナーゼ Fer を標的とした阻害剤の開発 .....70  
 小根山 千歳<sup>1</sup>、衣斐 寛倫<sup>2</sup>、田口 歩<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>愛知県がんセンター研究所 腫瘍制御学分野  
<sup>2</sup>愛知県がんセンター研究所 がん標的治療TR分野  
<sup>3</sup>愛知県がんセンター研究所 分子診断TR分野

6月20日 (木) 12:00-13:00

第2会場 (4F ホールA)

ランチョンセミナー2

Targeting CD38 and beyond in multiple myeloma

【モデレーター】 丸山 大 (公益財団法人がん研究会有明病院 血液腫瘍科)

LS2 Targeting CD38 and beyond in multiple myeloma

黒田 純也

京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学

【共催】 ヤンセンファーマ株式会社

6月20日 (木) 14:20-14:50

第2会場 (4F ホールA)

State-of-the-Art Technology Seminar 2

がんの治療に新元素合成で貢献

【モデレーター】 宮園 浩平 (東京大学大学院医学系研究科 病因・病理学専攻 応用病理学分野)

SAT2 がんの治療に新元素合成で貢献.....49

羽場 宏光

理化学研究所 仁科加速器科学研究センター 核化学研究開発室

6月20日 (木) 14:50-15:45

第2会場 (4F ホールA)

ワークショップ5

EGFR変異・活性化の治療抵抗性への関わり

【モデレーター】 山田 忠明 (京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学)

W5-1 EGFR 変異陽性肺がんにおける Osimertinib+ONO-7475 初期併用治療の抵抗性機構解明と克服法  
開発.....73

中邨 亮太<sup>1</sup>、康廣 とも子<sup>2</sup>、小崎 龍平<sup>2</sup>、山田 忠明<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学 大学院医学研究科 呼吸器内科学

<sup>2</sup>小野薬品工業株式会社 水無瀬研究所 オンコロジー研究センター

W5-2 EGFR 変異肺癌の髄膜癌モデルにおける ARID1A 変異による Osimertinib 耐性とその克服治療法の  
確立.....73

福田 康二<sup>1,2</sup>、竹内 伸司<sup>1,2</sup>、南條 成輝<sup>3</sup>、矢野 聖二<sup>3</sup>

<sup>1</sup>金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科

<sup>2</sup>金沢大学ナノ生命科学研究所

<sup>3</sup>金沢大学医薬保健研究域医学系呼吸器内科学

W5-3 染色体不安定性に伴う腫瘍免疫に依存した EGFR 変異陽性肺癌の EGFR 阻害剤耐性について .....74

米阪 仁雄<sup>1</sup>、坂井 和子<sup>2</sup>、廣谷 賢志<sup>3</sup>、明松 隆志<sup>4</sup>、西尾 和人<sup>2</sup>

<sup>1</sup>近畿大学医学部腫瘍内科

<sup>2</sup>近畿大学医学部ゲノム生物学

<sup>3</sup>第一三共株式会社 早期臨床開発部

<sup>4</sup>第一三共株式会社 ディスカバリー・リサーチラボラトリーI

W5-4 EGFR 変異陽性肺がんにおける Lazertinib 初期抵抗性の克服を目指した基礎的検討.....74

山田 忠明、松井 遥平

京都府立医科大学大学院呼吸器内科学

W5-5 脱リン酸化酵素を介した EGFR 活性化に起因する KRASG12C 阻害薬耐性の克服.....75

金村 宙昌<sup>1</sup>、鈴木 慎一郎<sup>1</sup>、坂井 和子<sup>2</sup>、西尾 和人<sup>2</sup>、中川 和彦<sup>1</sup>、米阪 仁雄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>近畿大学 医学部 内科学教室腫瘍内科部門

<sup>2</sup>近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室



## ワークショップ7

## 治療抵抗性とその克服

【モデレーター】 衣斐 寛倫 (愛知県がんセンター研究所 がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野)

- W7-1 患者由来大腸がん細胞におけるタンキラーゼ阻害剤感受性予測マーカー APC/PIK3CA 変異および活性型  $\beta$ -catenin の同定** .....78  
 馬島 哲夫<sup>1</sup>、村松 由起子<sup>1</sup>、森野 峻<sup>1,2</sup>、中村 彩音<sup>1,3</sup>、片山 量平<sup>2,4</sup>、清宮 啓之<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>がん研・化療セ・分子生物治療  
<sup>2</sup>東大・院・新領域・メディカル情報生命  
<sup>3</sup>明治薬科大・院・生命創薬科学  
<sup>4</sup>がん研・化療セ・基礎
- W7-2 ALK 陽性肺癌における AXL/GAS6 を介した ALK 阻害薬耐性機構** .....78  
 内海 太裕<sup>1,3</sup>、内堀 健<sup>2</sup>、西尾 誠人<sup>2</sup>、岡本 勇<sup>3</sup>、片山 量平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部  
<sup>2</sup>(公財)がん研究会 有明病院 呼吸器内科  
<sup>3</sup>九州大学大学院医学研究院 呼吸器内科学分野
- W7-3 細胞内 KRAS 局在の変化による KRAS 阻害薬初期耐性機構** .....79  
 丸山 航平<sup>1</sup>、片山 量平<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部  
<sup>2</sup>東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- W7-4 KRAS-G12C 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における AXL シグナル活性化を介した初期治療抵抗性機構の解明** .....79  
 森本 健司<sup>1</sup>、平井 聡一<sup>1</sup>、片山 勇輝<sup>1</sup>、堀中 真野<sup>2</sup>、酒井 敏行<sup>2</sup>、矢野 聖二<sup>3</sup>、山田 忠明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学  
<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学  
<sup>3</sup>金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学
- W7-5 KRAS 変異陽性肺癌における新規 RAF/MEK 阻害薬と FAK 阻害薬併用治療の有効性についての検討** .....80  
 吉村 彰紘<sup>1,2</sup>、堀中 真野<sup>1</sup>、山田 忠明<sup>2</sup>、酒井 敏行<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学  
<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学



6月20日 (木) 10:00-10:55

第3会場 (3F Room1)

## ワークショップ2

## がん幹細胞・不均一性

【モデレーター】 西谷 直之 (岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 情報薬科学分野)

- W2-1 膵がんにおける ROR1 高発現 tumor-initiating cell の機能解析と治療標的としての展望 .....65  
山崎 昌哉、石本 崇胤  
公益財団法人がん研究会 がん研究所 発がん研究部
- W2-2 胃がんにおける BET 阻害剤を用いた ALDH1A3 陽性初期薬剤耐性細胞の標的化と腫瘍抑制 .....66  
李 珍<sup>1,2</sup>、馬島 哲夫<sup>1</sup>、清宮 啓之<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター 分子生物治療研究部  
<sup>2</sup>東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- W2-3 EGFR-TKI 耐性 EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者から得られた臨床検体における肺癌幹細胞マーカーの発現の検討 .....66  
竹本 真之輔<sup>1</sup>、赤城 和優<sup>2</sup>、谷口 寛和<sup>2</sup>、松尾 緑<sup>3</sup>、迎 寛<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学病院 呼吸器内科  
<sup>2</sup>長崎大学病院 がん診療センター  
<sup>3</sup>長崎大学病院 臨床研究センター
- W2-4 CAF 由来の顆粒球コロニー刺激因子 GCSF は、トリプルネガティブ乳がんの腫瘍形成と転移に関与する .....67  
竹内 康人<sup>1,2</sup>、村山 貴彦<sup>1</sup>、張 華姿<sup>1</sup>、矢野 正雄<sup>3</sup>、田辺 真彦<sup>4</sup>、太田 哲生<sup>5</sup>、多田 敬一郎<sup>6</sup>、洲崎 悦生<sup>7</sup>、平田 英周<sup>1</sup>、池田 和博<sup>8</sup>、堀江 公仁子<sup>8</sup>、井上 聡<sup>8</sup>、岡本 康司<sup>9</sup>、東條 有伸<sup>10</sup>、後藤 典子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野  
<sup>2</sup>金沢大学 新学術創成研究所  
<sup>3</sup>南町田病院 外科  
<sup>4</sup>東京大学 乳腺内分泌外科  
<sup>5</sup>金沢大学 消化器・腫瘍・再生外科学  
<sup>6</sup>日本大学医学部 乳腺内分泌外科学分野  
<sup>7</sup>順天堂大学医学研究科 生化学生体システム医科学  
<sup>8</sup>埼玉医科大学 ゲノム応用医学  
<sup>9</sup>帝京大学 先端総合研究機構 健康科学研究部門  
<sup>10</sup>東京大学 医科学研究所 分子療法分野
- W2-5 ヒト乳がん T47D 細胞の血管擬態は angulin-1/LSR により抑制される .....67  
吉岡 佑馬<sup>1</sup>、大石 智一<sup>2,3</sup>、立田 大輔<sup>2</sup>、中島 みなみ<sup>1</sup>、川田 学<sup>2</sup>、清水 史郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学 理工学部 応用化学科  
<sup>2</sup>微生物化学研究所 第1生物活性研究部  
<sup>3</sup>微生物化学研究所 沼津市所

6月20日 (木) 10:55-11:50

第3会場 (3F Room1)

## ワークショップ4

## 腫瘍微小環境によるがん制御

【モデレーター】 片桐 豊雅 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

- W4-1 乳がん細胞の持続的小胞体ストレス下での増殖に必須な O 型糖鎖修飾を介した IRE1 恒常的活性化機構を標的とした新たな治療戦略 .....70  
内山 圭司<sup>1,2</sup>、吉丸 哲郎<sup>1,2</sup>、松下 洋輔<sup>2</sup>、片桐 豊雅<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野  
<sup>2</sup>医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所

W4-2	ZBTB2 は p53 変異型がん細胞の悪性形質を HIF-1 依存的に誘導する.....71 原田 浩 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 京都大学大学院生命科学研究科がん細胞生物学 <sup>2</sup> 京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター
W4-3	膠芽腫における阻害剤併用スクリーニングと新規分子標的の同定.....71 黄 天懿 <sup>1,2</sup> 、小池 清恵 <sup>1</sup> 、片山 量平 <sup>1,2</sup> 、高木 聡 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部 <sup>2</sup> 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
W4-4	空間的オミックス解析を用いた肝細胞癌の腫瘍微小環境における ACSL4 発現の役割の解明.....72 利田 賢哉、伊藤 心二 九州大学大学院 消化器・総合外科
W4-5	運動による臓器連関を介した肝がん抑制機構の解明.....72 山岸 良多 <sup>1</sup> 、ヴトゥンフェン <sup>2</sup> 、大谷 直子 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 大阪公立大学大学院医学研究科病態生理学 <sup>2</sup> 大阪市立大学大学院医学研究科病態生理学

6月20日 (木) 12:00-13:00

第3会場 (3F Room1)

## ランチョンセミナー3

## 個別化医療が進む肺がん薬物療法 -Driver変異と免疫学的因子の意義-

【モデレーター】 野上 尚之 (愛媛大学大学院医学系研究科 地域胸部疾患治療学講座)

LS3 個別化医療が進む肺がん薬物療法 -Driver 変異と免疫学的因子の意義-

北野 滋久

公益財団法人がん研究会有明病院 先端医療開発科

【共催】 アストラゼネカ株式会社

6月20日 (木) 14:50-15:45

第3会場 (3F Room1)

## ワークショップ6

## 新規スクリーニング系による治療薬開発

【モデレーター】 内藤 幹彦 (東京大学大学院薬学系研究科 タンパク質分解創薬社会連携講座)

W6-1 低分子化合物を用いた c-Myc を標的とする合成致死スクリーニング.....75

山崎 洋子<sup>1</sup>、大庭 俊一<sup>1</sup>、小野寺 威文<sup>1</sup>、川田 学<sup>2</sup>、百瀬 功<sup>1</sup><sup>1</sup>微生物化学研究所 沼津支所<sup>2</sup>微生物化学研究所 第一生物活性研究部

W6-2 MYCN アンチセンス遺伝子産物 NCYM を標的にしたがん治療薬開発.....76

末永 雄介<sup>1</sup>、山本 清義<sup>1</sup>、中谷 一真<sup>1</sup>、武藤 大将<sup>1</sup>、筆宝 義隆<sup>1,2</sup><sup>1</sup>千葉県がんセンター 研究所 進化腫瘍学研究室<sup>2</sup>千葉県がんセンター 研究所 精密腫瘍モデル研究室

W6-3 前立腺癌検体を用いた長期初代培養モデルの開発：個別・層別化治療標的探索の新しいツール.....76

猪子 誠人<sup>1,2</sup><sup>1</sup>愛知医大・医・病理<sup>2</sup>愛知県がんセンター 研究所 がん予防研究分野

W6-4 冬虫夏草類の培養液を用いた抗がん剤 in vivo スクリーニング系の構築.....77

大石 智一<sup>1,2</sup>、安達 勇光<sup>2</sup>、大庭 俊一<sup>2</sup>、吉田 潤次郎<sup>1</sup>、立田 大輔<sup>1</sup>、川田 学<sup>1</sup><sup>1</sup>微生物化学研究会 微生物化学研究所 第1生物活性研究部<sup>2</sup>微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所

W6-5	ショウジョウバエ表現型スクリーニングによる膵管がん新規治療標的の同定.....77
	園下 将大
	北海道大学 遺伝子病制御研究所

6月20日 (木) 15:45-16:40

第3会場 (3F Room1)

ワークショップ8

薬剤耐性・感受性

【モデレーター】 井上 正宏 (京都大学大学院医学研究科臨床バイオリソース研究開発講座)

W8-1	大腸がんオルガノイドにおける化学療法後の DTP 再増殖のエピジェネティック制御 .....80
	Coppo Roberto、井上 正宏
	京都大学大学院医学研究科臨床バイオリソース研究開発講座
W8-2	非小細胞肺癌において NECTIN4 は細胞表面 CD155 の発現増加を介して腫瘍免疫を制御する .....81
	水崎 俊、米嶋 康臣、岩間 映二、岡本 勇
	九州大学 大学院医学研究院 呼吸器内科学分野
W8-3	脳脊髄液腫瘍由来 DNA (CSF-tDNA) を用いた EGFR 変異肺がん中枢神経系転移における治療最適化.....81
	南條 成輝、矢野 聖二
	金沢大学附属病院 呼吸器内科
W8-4	骨髄異形成症候群におけるアザシチジンの治療効果は ALOX12 遺伝子発現と緊密に関連する .....82
	松本 太一 <sup>1</sup> 、村上 雄一 <sup>1</sup> 、吉田 奈央 <sup>2</sup> 、勝地 大介 <sup>1</sup> 、金澤 久遠 <sup>1</sup> 、小野 眞弓 <sup>3</sup> 、桑野 信彦 <sup>1</sup>
	<sup>1</sup> 聖マリア研究センター 基礎医学研究ユニット
	<sup>2</sup> 聖マリア病院 血液内科
	<sup>3</sup> 聖マリア学院大学 大学院看護学 研究科創薬腫瘍科学
W8-5	ドラッグデリバリー技術リポソームによるがん分子標的薬への応用.....82
	森 幹永、吉野 雄大、中谷 俊幸
	富士フイルム株式会社バイオサイエンス&エンジニアリング研究所

6月20日 (木) 16:40-17:16

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

ポスター1

ゲノム・エピゲノム・発がん機構

【モデレーター】 伊藤 昭博 (東京薬科大学生命科学部 細胞情報科学研究室)

- P1-1 成人T細胞白血病/リンパ腫に対する DNA 脱メチル化薬と HDAC 阻害薬の併用による抗腫瘍効果 ..103  
倉橋 祐樹<sup>1,2</sup>、嬉野 博志<sup>4</sup>、城戸口 啓介<sup>1,3</sup>、川副 和紀<sup>1</sup>、山本 雄大<sup>3</sup>、渡邊 達郎<sup>1</sup>、木村 晋也<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座  
<sup>2</sup>大原薬品工業株式会社  
<sup>3</sup>佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科  
<sup>4</sup>広島大学 原爆放射線医科学研究所
- P1-2 DNA メチル化酵素阻害剤の処理は VAMP5 の発現上昇を介して血管擬態形成を抑制する .....103  
菅山 紗也佳、工藤 晴、清水 史郎  
慶應義塾大学 理工学部 応用化学科
- P1-3 Eph receptor A2(EphA2)のプロセシングが肝がん細胞の悪性化に及ぼす影響の解明 .....104  
池田 一貴、塚本 英樹、越川 直彦  
東京工業大学 生命理工学院 健康医療科学分野
- P1-4 抗がん化合物 Lonidamine の標的因子の探索 .....104  
渡邊 史織<sup>1</sup>、土井 雄太<sup>1</sup>、仙波 憲太郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻  
<sup>2</sup>福島県立医科大学 TRセンター
- P1-5 TGF-β/Smad3 は ALDH1 の発現誘導により doxorubicin 耐性とがん幹細胞性を亢進する .....105  
横山 隆志<sup>1</sup>、齋藤 正夫<sup>2</sup>、宮澤 恵二<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山梨大学 大学院総合研究部 医学域 生化学講座第2教室  
<sup>2</sup>山梨大学 医学部 総合医科学センター
- P1-6 HBV PreS1 と細胞側受容体 NTCP の結合を標的とする中分子阻害剤スクリーニング .....105  
入間田 早瑛、野口 耕司  
東京理科大学薬学部

6月20日 (木) 17:30-18:12

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

ポスター2

発がん機構・がん遺伝子・がん抑制遺伝子

【モデレーター】 小根山 千歳 (愛知県がんセンター研究所 腫瘍制御学分野)

- P2-1 骨肉腫に対し骨分化誘導を促進する分子標的の同定 .....106  
竹内 誠<sup>1,2</sup>、高木 聡<sup>1</sup>、片山 量平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター基礎研究部  
<sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部 運動機能学
- P2-2 TMEPAI 遺伝子欠損は Apc 機能喪失による消化管腫瘍形成を抑制する .....106  
新田 富馬<sup>1</sup>、中野 なおこ<sup>1</sup>、武藤 誠<sup>2</sup>、伊東 進<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>昭和薬科大学 薬学部 生化学研究室  
<sup>2</sup>医学研究所北野病院
- P2-3 腸特異的 Smad4 遺伝子欠損マウスにおける Wnt/β-catenin 非依存性腺がん発症機序の解明 .....107  
中野 なおこ、伊東 進  
昭和薬科大学 薬学部 生化学研究室

P2-4	eIF4B は CAMK2G と相互作用し骨髄線維症進展に寄与する.....107 佐々木 謙、黒川 峰夫 東京大学医学部附属病院 血液腫瘍内科
P2-5	肺腺癌におけるアロマトラーゼの細胞増殖能と転移能への影響.....108 中嶋 理名 <sup>1</sup> 、鈴木 佑果 <sup>1</sup> 、毛利 彩華 <sup>1</sup> 、六代 範 <sup>1</sup> 、調 憲 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 群馬大学大学院医学系研究科 <sup>2</sup> 群馬大学附属病院外科センター
P2-6	DNA オリガミ構造体を用いた de novo タンパク質 NCYM の一分子動態評価.....108 山本 清義 <sup>1</sup> 、中谷 一真 <sup>2</sup> 、武藤 大将 <sup>2</sup> 、筆宝 義隆 <sup>3</sup> 、末永 雄介 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 千葉県がんセンター 研究所 進化腫瘍学研究室 <sup>2</sup> 千葉大学 医学薬学府 <sup>3</sup> 千葉県がんセンター 研究所 発がん制御研究部
P2-7	乳がんにおける ERβ 発現の腫瘍生物学的意義と治療ターゲットとしての可能性.....109 渋谷 祥平、増田 隆明、廣瀬 皓介、三森 功士 九州大学病院別府病院 外科

6月20日 (木) 16:40-17:34

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

ポスター3

細胞死・細胞周期・新規モダリティ

【モデレーター】 馬島 哲夫 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター 分子生物治療研究部)

P3-1	メラノーマにおける stearyl-CoA desaturase の密度依存的な誘導によるフェロトシス耐性..109 白濱 仁深 <sup>1</sup> 、岡本 有加 <sup>1</sup> 、野田 智幹 <sup>1,2</sup> 、富田 章弘 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> (公財) がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部 <sup>2</sup> 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
P3-2	エトポシドとステロイド併用による相乗的抗腫瘍効果.....110 砂田 成章 <sup>1,2</sup> 、加藤 俊介 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 順天堂大学 健康総合科学先端研究機構 <sup>2</sup> 順天堂大学 大学院医学研究科 臨床腫瘍学
P3-3	胆管がんに対する新規カチオンリポソームのアポトーシス誘導.....110 橋本 友也、奥村 真樹、後藤 浩一、松本 陽子、市原 英明 崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻
P3-4	R-loop 調節における長鎖非翻訳 RNA TUG1 の機能.....111 西村 建徳、新城 恵子、近藤 豊 名古屋大学大学院 医学系研究科 腫瘍生物学
P3-5	高感度プロモータートラップ法による細胞周期相特異的に応答するレポーター細胞の作製と解析..111 笠原 和 <sup>1</sup> 、仙波 憲太郎 <sup>1,3</sup> 、石川 公輔 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 早稲田大学 大学院先進理工学研究科 細胞情報学分野 <sup>2</sup> バイオ産業情報化コンソーシアム (JBIC) <sup>3</sup> 福島県立医科大学 トランスレーショナルリサーチセンター
P3-6	子宮頸がん細胞における Artesunate 誘導性フェロトシスのヘム依存的増感.....112 上田 陽子 <sup>1</sup> 、辻 美恵子 <sup>2</sup> 、鈴木 紀子 <sup>1</sup> 、平山 祐 <sup>2</sup> 、竹中 基記 <sup>1</sup> 、永澤 秀子 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 岐阜大・医・産科婦人科 <sup>2</sup> 岐阜薬大・薬・薬化学
P3-7	抗原親和性の異なる CAR-T 細胞の活性化および疲弊マーカー発現パターン解析 .....112 松本 真愛 <sup>1</sup> 、近藤 科江 <sup>1,2</sup> 、門之園 哲哉 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 東京工業大学 生命理工学院 <sup>2</sup> 独立行政法人 国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校



- P3-8 ギルテリチニブをリガンドに利用した PROTAC による ALK 融合タンパク質の分解.....113  
大岡 伸通<sup>1</sup>、内藤 幹彦<sup>2</sup>、出水 庸介<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部  
<sup>2</sup>東京大学大学院薬学研究科  
<sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部
- P3-9 公共データベースを用いた ARID1A 欠損がんを対象とした合成致死標的の同定 .....113  
萩原 秀明  
国立がん研究センター 研究所 がん治療学研究分野

6月20日 (木) 17:30-18:12

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

## ポスター4

## 新規薬剤・スクリーニング系・その他

【モデレーター】 百瀬 功 (公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所)

- P4-1 AI 画像分類を利用した形態形成シグナル阻害剤の探索方法の構築.....114  
西谷 直之<sup>1</sup>、氏家 悠貴<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>岩手医科大学 薬学部  
<sup>2</sup>岩手医科大学附属病院
- P4-2 エチレングリコール単位を含むアルキル鎖をもつチオフェンカルボキサミド誘導体の合成とヒト肺がん細胞 A549 に対する活性評価.....114  
小島 直人<sup>1</sup>、大田 海斗<sup>2</sup>、中田 晋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>長崎国際大学 薬学部  
<sup>2</sup>京都薬科大学
- P4-3 RNA 脱メチル化酵素 ALKBH3 の酵素活性阻害化合物による膵がん治療創薬.....115  
山田 麻奈未  
大阪大学薬学部
- P4-4 ハイブリッドリポソームを用いた食道がんに対するセラノスティクス.....115  
高井 洵奈、奥村 真樹、後藤 浩一、松本 陽子、市原 英明  
崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻
- P4-5 PIKKs 安定化因子 TELO2 の機能抑制は悪性ラブドイド腫瘍細胞の増殖を阻害する .....116  
米澤 穂波、氏家 悠貴、上原 至雅、西谷 直之  
岩手医科大学 薬学部
- P4-6 エストロゲン受容体陽性乳がん細胞に特異的な抗がん効果を示す新規ラメラリン誘導体の同定.....116  
杉田 裕宣<sup>1,2</sup>、吉田 陽子<sup>1</sup>、福田 勉<sup>3</sup>、岩尾 正倫<sup>4</sup>、富田 章弘<sup>5</sup>、且 慎吾<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部  
<sup>2</sup>東京医科歯科大学 大学院 歯学総合研究科  
<sup>3</sup>長崎大学大学院 環境保全センター  
<sup>4</sup>長崎大学大学院 工学研究科  
<sup>5</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部
- P4-7 エストロゲン受容体陽性乳癌における新たな予後因子の同定.....117  
桑原 一彦  
近畿大学病院・病理診断科

## ポスター5

## がん代謝・浸潤・転移

【モデレーター】 曾和 義広 (京都市立医科大学 教育センター 次世代研究者挑戦的研究プログラム)

- P5-1 **がん悪性化進展に関与する EphA2 の相互作用因子の研究** .....117  
塚本 英樹、池田 一貴、越川 直彦  
東京工業大学 生命理工学院 越川研究室
- P5-2 **前立腺癌の転移における CXCR3 の役割：リンパ節転移への影響** .....118  
長屋 直哉<sup>1,2</sup>、村元 啓仁<sup>1</sup>、永田 政義<sup>1</sup>、井手 久満<sup>1,3</sup>、堀江 重郎<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学  
<sup>2</sup>順天堂大学医学部附属静岡病院  
<sup>3</sup>順天堂大学 デジタルセラピューテックス講座
- P5-3 **乳がんにおける 1 炭素代謝酵素 SHMT2 の機能解析** .....118  
鳥羽 樹、後藤 典子、本宮 綱記、竹内 康人、楠木 啓主  
金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態分野
- P5-4 **がんエネルギー代謝に基づく悪性リンパ腫の併用療法 ～ミトコンドリアの酸化的リン酸化を標的とした新規抗腫瘍薬 OPB-111077～** .....119  
高木 英美理、大井 直人  
大塚製薬株式会社 大阪創薬研究センター 先端創薬研究所
- P5-5 **神経膠芽腫における Ertredin 誘導体による EGFRvIII 非定型的飲作用誘導機構の検討** .....119  
渥美 園子<sup>1</sup>、川田 学<sup>1</sup>、澁谷 正史<sup>2</sup>、櫻井 宏明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>微生物化学研究所 第1生物活性研究部  
<sup>2</sup>上武大学  
<sup>3</sup>富山大学薬学部
- P5-6 **Caspase-4 は肺腺癌の浸潤・転移を促進するとともに、IFN- $\gamma$  誘導細胞死を促進する** .....120  
千葉 要祐<sup>1,2</sup>、矢寺 和博<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>産業医科大学 医学部 呼吸器内科学  
<sup>2</sup>産業医科大学 医学部 分子生物学
- P5-7 **FGF-KRAS シグナルを介した Double Negative CRPC (DNPC) の進展機構** .....120  
神島 泰樹<sup>1,2</sup>、泉 浩二<sup>2</sup>、中川 竜之介<sup>2</sup>、青山 周平<sup>2</sup>、八重樫 洋<sup>2</sup>、溝上 敦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>KKR北陸病院  
<sup>2</sup>金沢大学医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学
- P5-8 **骨転移、脳転移性 ALK 陽性肺がん細胞株を用いたシグナル解析** .....121  
土井 雄太<sup>1</sup>、仙波 憲太郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻  
<sup>2</sup>福島県立医科大学 TRセンター
- P5-9 **pS-EphA2 を介した細胞遊走への FAK の寄与** .....121  
谷口 凌麻、周 越、横山 悟、櫻井 宏明  
富山大学 大学院総合医薬学研究科 がん細胞生物学



## ポスター6

## 腫瘍微小環境・細胞外小胞

【モデレーター】 高木 聡 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター 基礎研究部)

- P6-1 エピジェネティクス改変によって老化誘導したがん細胞由来細胞外小胞の抗腫瘍効果.....122  
飯塚 ひより、吉岡 正浩、川上 浩良  
東京都立大学 都市環境科学研究科 環境応用化学域
- P6-2 Dual-specificity phosphatase (DUSP)5 は非小細胞肺癌細胞上の PD-L1 発現を制御する .....122  
山下 翔、田中 謙太郎、米嶋 康臣、岩間 映二、岡本 勇  
九州大学大学院医学研究院 呼吸器内科学
- P6-3 AEBP1 は口腔扁平上皮がんにおいて骨格筋細胞分化の抑制因子として働く .....123  
岡崎 史佳<sup>1,2</sup>、鈴木 拓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学 医学部 分子生物学講座  
<sup>2</sup>札幌医科大学 医学部 口腔外科学講座
- P6-4 低酸素環境下がん細胞に対するラクトフェリン作用の分子機構 .....123  
村上 大徳<sup>1,2</sup>、谷本 圭司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野  
<sup>2</sup>広島大学 大学院医系科学研究科 口腔外科学
- P6-5 KRAS 阻害剤による HIF-1 $\alpha$  の翻訳制御 .....124  
田中 伯享、坂本 毅治  
関西医科大学
- P6-6 RNA-seq 遺伝子発現解析による休眠がん細胞マーカーの探索 .....124  
上條 航生<sup>1</sup>、宮本 康太郎<sup>1</sup>、近藤 科江<sup>1,2</sup>、門之園 哲哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京工業大学 生命理工学院  
<sup>2</sup>奈良工業高等専門学校
- P6-7 大腸癌における *Citrobacter freundii* によるオキサリプラチン耐性への影響 .....125  
植田 怜男<sup>1</sup>、今井 源<sup>1</sup>、川村 佳史<sup>2</sup>、西條 憲<sup>1</sup>、石岡 千加史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学分野  
<sup>2</sup>大崎市民病院腫瘍内科

## ポスター7

## ケミカルバイオロジー・感受性規定因子

【モデレーター】 田代 悦 (昭和薬科大学 生化学研究室)

- P7-1 微生物由来天然化合物 phepropeptin D は核膜タンパク質ラミン A のプロセッシングに影響を与える .....125  
岩田 まみ<sup>1</sup>、又川 ともえ<sup>1</sup>、室井 誠<sup>2,3</sup>、長田 裕之<sup>3,4</sup>、清水 史郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学 理工学部 応用化学科  
<sup>2</sup>理研 CSRS 生命分子解析ユニット  
<sup>3</sup>理研 CSRS 化合物リソース開発研究ユニット  
<sup>4</sup>静岡県立大学 薬学部
- P7-2 *In silico* 手法を利用した PPI 阻害ペプチドの開発 .....126  
藤田 陽<sup>1,2</sup>、出水 庸介<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学 生命医科学研究科  
<sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P7-3	<b>化合物アレイを用いた ME2 阻害剤の探索</b> .....126 川谷 誠 <sup>1,2</sup> 、室井 誠 <sup>1,2</sup> 、堂前 直 <sup>2</sup> 、長田 裕之 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 理研CSRS 化合物リソース開発研究ユニット <sup>2</sup> 理研CSRS 生命分子解析ユニット
P7-4	<b>試験管内人工進化で得た 20S プロテアソームに対する親和性アミノ酸配列による基質タンパク質の分解促進効果</b> .....127 朱 耘浩、森 啓樹、長谷川 慎 長浜バイオ大学 大学院 バイオサイエンス研究科
P7-5	<b>がん細胞に中心体クラスタリング阻害活性を示す kolavenic acid analog のキナーゼ阻害と構造活性相関</b> .....127 佐藤 圭恭、木村 賢一 岩手大院・総合科学
P7-6	<b>eIF5A ハイプシン化阻害剤 GC7 の合成致死遺伝子の解析</b> .....128 松本 健 <sup>1,2</sup> 、堂前 直 <sup>3</sup> 、吉田 稔 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 理研CSRS・ケミカルゲノミクス <sup>2</sup> 理研CSRS・創薬シード <sup>3</sup> 理研CSRS・生命分子解析
P7-7	<b>リン酸化プロテオミクス解析に基づく腫瘍増殖及び転移確立過程を標的とした創薬標的探索</b> .....128 佐藤 友美 <sup>1</sup> 、井上 正宏 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 福島医大 医学部 基礎病理学講座 <sup>2</sup> 京大院 医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座
P7-8	<b>shRNA スクリーニングによる滑膜肉腫の PI3K 阻害剤感受性規定因子探索</b> .....129 磯山 翔、玉城 尚美、吉田 陽子、且 慎吾 公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部

6月20日 (木) 16:40-17:28

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

ポスター8

診断・予後予測・症例発表

【モデレーター】 六代 範 (群馬大学大学院医学系研究科 病態腫瘍薬理学)

P8-1	<b>がん患者血小板 RNA の遺伝子プロファイルに基づく再発予測の可能性</b> .....129 坂井 和子、西尾 和人 近畿大学 医学部 ゲノム生物学
P8-2	<b>ネイティブ・ハワイアン特有の miRNA 発現による健康格差の探求と喫煙の isomiR 生成への影響調査</b> .....130 奈須 将樹 ハワイ大学
P8-3	<b>HDAC 阻害剤パノビノスタットのリポソーム化による急性骨髄性白血病 (AML) 治療への応用</b> ...130 吉野 雄大、森 幹永、中谷 俊幸 富士フイルム株式会社 バイオサイエンス&エンジニアリング研究所

- P8-4 **ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)のためのカルボラン含有アミノ酸誘導体の腫瘍標的化**.....131  
山本 凌大、辻 美恵子、平山 祐、永澤 秀子  
岐阜薬科大学 薬学部 薬学科
- P8-5 **NCYM はヒト胆管癌においてオートファジーの活性化を介して腫瘍形成を促進する**.....131  
武藤 大将<sup>1,2</sup>、末永 雄介<sup>2</sup>、中谷 一真<sup>1,2</sup>、筆宝 義隆<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学大学院 医学薬学府  
<sup>2</sup>千葉県がんセンター研究所 進化腫瘍学研究室  
<sup>3</sup>千葉県がんセンター研究所 精密腫瘍モデル研究室
- P8-6 **放射線感受性を示した CDKN1B のナンセンス変異を伴うアポクリン癌の一例**.....132  
梅垣 翔<sup>1,2</sup>、吉田 裕也<sup>2</sup>、川村 佳史<sup>2</sup>、笠原 佑記<sup>2</sup>、大内 康太<sup>2</sup>、小峰 啓吾<sup>2</sup>、今井 源<sup>2</sup>、西條 憲<sup>2</sup>、城田 英和<sup>2</sup>、高橋 雅信<sup>2</sup>、石岡 千加史<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>宮城県立がんセンター 腫瘍内科  
<sup>2</sup>東北大学病院 腫瘍内科
- P8-7 **日本人の稀少前立腺導管癌における p53 免疫染色による遺伝子変異予測能の検討**.....132  
小林 裕章<sup>1</sup>、小坂 威雄<sup>2</sup>、西原 広史<sup>3</sup>、大家 基嗣<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>防衛医科大学校病院泌尿器科学講座  
<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室  
<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット
- P8-8 **肺癌におけるがんゲノムプロファイリング (CGP、Comprehensive Genomic Profiling) に基づく薬物治療について**.....133  
川中 雄介<sup>1</sup>、米阪 仁雄<sup>1,2</sup>、稲垣 千昌<sup>1,2</sup>、高濱 隆幸<sup>1,2</sup>、白石 直樹<sup>2</sup>、坂井 和子<sup>3</sup>、西尾 和人<sup>3</sup>、中川 和彦<sup>2</sup>、林 秀敏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部腫瘍内科  
<sup>2</sup>近畿大学病院ゲノム医療センター  
<sup>3</sup>近畿大学医学部ゲノム生物学

6月20日 (木) 17:30-18:06

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

## ポスター9

## 次世代抗体・光線力学療法・核医学治療

【モデレーター】 井上 靖道 (名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞情報学分野)

- P9-1 **細胞障害性の高い細胞を腫瘍へ誘導する二重特異性抗体の創製**.....133  
長谷川 佳保<sup>1</sup>、門之園 哲哉<sup>1</sup>、近藤 科江<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京工業大学 生命理工学院  
<sup>2</sup>独立行政法人国立高等専門学校機構奈良工業高等専門学校
- P9-2 **抗原密度依存的に結合するタンデム三量体 Nanobody の創出と ADCC 活性評価**.....134  
オンゴノ スワンディ<sup>1</sup>、近藤 科江<sup>1,2</sup>、門之園 哲哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京工業大学 生命理工学院  
<sup>2</sup>独立行政法人 国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校
- P9-3 **HER2 陽性胃がん細胞における trastuzumab deruxtecan の耐性機構**.....134  
村瀬 裕哉、南條 成輝、木場 隼人、丹保 裕一、矢野 聖二  
金沢大学附属病院 呼吸器内科
- P9-4 **膀胱がんを標的としたがん特異的抗ポドカリキシン抗体の開発**.....135  
田中 智大<sup>1</sup>、鈴木 裕之<sup>1</sup>、大石 智一<sup>2,3</sup>、加藤 幸成<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大・院医・抗体創薬  
<sup>2</sup>微生物化学研究所 沼津支所・動物施設  
<sup>3</sup>微生物化学研究所 第1生物活性研究部
- P9-5 **リガンド連結型近赤外有機光増感剤を活用したがん分子標的型光線力学療法**.....135  
三浦 一輝、中村 浩之  
東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所

P9-6	固相法による <sup>211</sup> At-MABG の標識合成および α 線による免疫原性細胞死に関する検討.....136
	中島 孝平、小川 美香子
	北海道大学 大学院薬学研究院

6月20日 (木) 16:40-17:28

ポスター会場 (3F レセプションルーム)

ポスター10

薬剤耐性・感受性

【モデレーター】 荻野 広和 (徳島大学大学院医歯薬学研究所 呼吸器・膠原病内科学分野)

P10-1	<b>BRAF V600E 変異大腸癌における BRAF、MEK および EGFR の 3 阻害薬併用の抗腫瘍効果を増強する PTPN11 の同定</b> .....136
	沼倉 龍之助 <sup>1,2</sup> 、高橋 雅信 <sup>1,2</sup> 、吉田 裕也 <sup>2</sup> 、小峰 啓吾 <sup>2</sup> 、石岡 千加史 <sup>1,2</sup>
	<sup>1</sup> 東北大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学分野
	<sup>2</sup> 東北大学病院 腫瘍内科
P10-2	<b>PIK3CA/PTEN 二重変異がもたらす EGFR 及び ALK 陽性肺がんの TKI 抵抗性と克服法探索</b> .....137
	白石 明梨 <sup>1,2</sup> 、片山 量平 <sup>1,2</sup>
	<sup>1</sup> (公財)がん研・化療セ・基礎研究部
	<sup>2</sup> 東大・新領域・メディカル情報生命
P10-3	<b>慢性骨髄性白血病におけるダサチニブ耐性に MOS 及び TPL2 過剰発現が寄与する</b> .....137
	椿 正寛、武田 朋也、滝本 航大、片山 翔太、富田 佳那、西田 升三
	近畿大学薬学部
P10-4	<b>KRAS 阻害剤の比較とその併用療法の可能性</b> .....138
	高島 華乃、谷口 琴音、永井 夏鈴、外村 奈夕、尾崎 恵一
	同志社女子大学・薬学部・病態分子制御学
P10-5	<b>腫瘍内細胞間シグナル相互作用を介した胃がん化学療法抵抗性 persister 細胞の残存機序の解析</b> ..138
	中村 彩音 <sup>1,2</sup> 、馬島 哲夫 <sup>1</sup> 、清宮 啓之 <sup>1,2</sup>
	<sup>1</sup> がん研・化療セ・分子生物治療
	<sup>2</sup> 明治薬科大・院・生命創薬科学
P10-6	<b>オンコスタチン M はすい臓がん細胞の vandetanib 耐性を誘導する</b> .....139
	立田 大輔 <sup>1</sup> 、吉田 潤次郎 <sup>1</sup> 、大石 智一 <sup>1,2</sup> 、川田 学 <sup>1</sup>
	<sup>1</sup> 微生物化学研究所 第1生物活性研究部
	<sup>2</sup> 微生物化学研究所 沼津支所
P10-7	<b>FLT3-ITD 二重変異による FLT3 阻害薬耐性</b> .....139
	片山 和浩
	日本大学・薬学部・分子標的治療学研究室
P10-8	<b>がんスフェロイドを用いた抗体薬と低分子薬の感受性比較解析</b> .....140
	竹村 幸敏
	京ダイアグノスティクス株式会社

6月21日 (金) 7:55-8:55

第1会場 (4F ホールB)

モーニングセミナー3

EGFR uncommon mutationを考察する ～エビデンスに基づく最新治療戦略とunmet medical needs～

【モデレーター】 高山 浩一 (京都府立医科大学 呼吸器内科)

MS3 EGFR uncommon mutation を考察する  
～エビデンスに基づく最新治療戦略と unmet medical needs～

田中 謙太郎

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学

【共催】 ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

6月21日 (金) 9:00-9:30

第1会場 (4F ホールB)

Year in Review 3

細胞免疫療法の進展

【モデレーター】 片桐 豊雅 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

YIR3 細胞免疫療法の進展.....48

北野 滋久

公益財団法人がん研究会有明病院 先端医療開発科

6月21日 (金) 9:30-11:50

第1会場 (4F ホールB)

シンポジウム3

新世代医薬品の展望

【モデレーター】 高橋 俊二 (公益財団法人がん研究会有明病院 総合腫瘍科)  
西岡 安彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野)

S3-1 Antibody drug conjugate (ADC) 開発の現況と展望.....58

清水 俊雄

和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座 (呼吸器内科・腫瘍内科)

S3-2 2重特異性抗体開発の現況と展望.....58

安永 正浩

国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野

S3-3 固形腫瘍を対象とした免疫細胞療法の開発と展望.....59

宮原 慶裕

三重大学大学院医学系研究科 個別化がん免疫治療学

S3-4 タンパク質分解医薬品の開発の現状と展望.....59

出水 庸介

国立医薬品食品衛生研究所有機化学部

S3-5 がん治療における microRNA のポテンシャル：化学修飾型 microRNA-143 リポプレックスの有効性に関する検証.....60

谷口 高平<sup>1</sup>、有馬 純<sup>2</sup>、猪俣 陽介<sup>2</sup>、赤尾 幸博<sup>3</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学 トランスレーショナルリサーチ部門

<sup>2</sup>大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学教室

<sup>3</sup>岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

6月21日 (金) 12:00-13:00

第1会場 (4F ホールB)

ランチョンセミナー4

日本で生まれた薬剤レンバチニブががん治療にもたらしたもの

【モデレーター】 北野 滋久 (公益財団法人がん研究会有明病院 先端医療開発科)

LS4 がん免疫療法の耐性機序とレンバチニブへの期待

富樫 庸介

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野

【共催】 エーザイ株式会社

6月21日 (金) 13:05-14:05

第1会場 (4F ホールB)

特別講演

DXで目指す創薬イノベーション

【モデレーター】 藤田 直也 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター)

SP DXで目指す創薬イノベーション .....45

奥野 恭史<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科

<sup>2</sup>理化学研究所計算科学研究センター

6月21日 (金) 14:05-16:25

第1会場 (4F ホールB)

シンポジウム4

産学連携シンポジウム アカデミアシーズの橋渡し

【モデレーター】 秋永 士朗 (NANO MRNA 株式会社)

川田 学 (公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 第1生物活性研究部)

【スライドテンプレートの経緯】 本シンポジウムの特徴と開催様式について

芹生 卓 (医薬品開発能力促進機構/APCER Life Sciences)

S4-1 難治性がんを標的とした新たな治療戦略の開発 .....60

中山 敬一

東京医科歯科大学 高等研究院

S4-2 白血病細胞をオートファジー細胞死に導く葉酸修飾シクロデキストリンの開発 .....61

久保田 寧<sup>1,2</sup>、星子 亨幹<sup>2,3</sup>、弘津 辰徳<sup>4</sup>、木村 晋也<sup>2</sup>

<sup>1</sup>埼玉医科大学総合医療センター 輸血部

<sup>2</sup>佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科

<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院 臨床研究センター

<sup>4</sup>株式会社サイディン

S4-3 アスタチン標識 CD82 抗体を用いた新規白血病治療法の開発 .....61

池添 隆之

福島県立医科大学 血液内科学講座

S4-4 難治性悪性脳腫瘍の中性子捕捉療法薬剤の開発 .....62

中村 浩之、三浦 一輝

東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究科

S4-5 既治療進行小細胞肺癌を対象とした 6-メルカプトプリンとメトトレキサート併用の第I相医師主導治験 .....62

田中 謙太郎<sup>1,2</sup>、岡本 勇<sup>1</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野

<sup>2</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学



## 評価者 (コメンテーター)

江寄 正浩	協和キリン株式会社 研究本部 疾患サイエンス第2研究所 主任研究員
安藤 宗稔	協和キリン株式会社 開発本部 開発マネジメントオフィス マネージャー
山本 暁彦	エーザイ株式会社 コラボレーション&インキュベーション部 日本室 室長
渡辺 沙里	エーザイ株式会社 ディスカバリーコンセプトバリデーションファンクション デピュティヘッド 兼 デイジーズバイオロジー部 部長
北川 麻弓	第一三共株式会社 創薬情報科学研究所長
山本 昌司	第一三共株式会社 研究イノベーション推進部 研究企画グループ長
入江 弘樹	中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部医科学薬理部 バイオマーカー戦略G グループマネージャー
島田 芽衣	中外製薬株式会社 研究本部創薬薬理第一研究部オンコロジー第二G グループマネージャー
吉村 千穂子	大鵬薬品株式会社 第一研究所 所長
宮腰 均	大鵬イノベーションズ パートナー
森下 大輔	Chordia Therapeutics CSO
橋本 修一	株式会社カイオム・バイオサイエンス 創薬研究部 部長
柳生 茂希	株式会社A-SEEDS 代表取締役社長
塩原 梓	東京大学エッジキャピタルパートナーズ プリンシパル
上野 博之	京都大学イノベーションキャピタル株式会社 投資第二部 部長
二見 崇史	ANN VENTURES パートナー

6月21日 (金) 16:25-16:55

第1会場 (4F ホールB)

ポスター賞授与・閉会式



6月21日（金） 7:55-8:55

第2会場（4F ホールA）

モーニングセミナー4

白血病治療の最近の流れ

【モデレーター】 木村 晋也（佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科）

MS4-1

嬉野 博志  
広島大学病院 血液内科

MS4-2

照井 康仁  
埼玉医科大学病院 血液内科

【共催】 大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

6月21日（金） 9:00-9:30

第2会場（4F ホールA）

Year in Review 4

エピゲノム創薬

【モデレーター】 松井 順二（エーザイ株式会社 DHBL Discovery Generation Function）

YIR4 エピゲノム創薬.....48

伊藤 昭博  
東京薬科大学 生命科学部

6月21日（金） 9:30-10:00

第2会場（4F ホールA）

State-of-the-Art Technology Seminar 3

深層生成モデルが切り拓く新たな腫瘍微小環境研究

【モデレーター】 三森 功士（九州大学病院別府病院 外科）

SAT3 深層生成モデルが切り拓く新たな腫瘍微小環境研究.....50

島村 徹平<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京医科歯科大学難治疾患研究所  
<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科

6月21日（金） 10:00-10:55

第2会場（4F ホールA）

ワークショップ9

ゲノム・エピゲノム制御とがん

【モデレーター】 南 陽介（国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科）

W9-1 DNA メチル化阻害薬によるウイルス由来のマウス自然発がんに対するがん予防効果.....83

山本 雄大<sup>1,2</sup>、渡邊 達郎<sup>2</sup>、倉橋 祐樹<sup>2,3</sup>、嬉野 博志<sup>1,2</sup>、川副 和紀<sup>1,2</sup>、城戸口 啓介<sup>1,2</sup>、蒲池 和晴<sup>1,2</sup>、木村 晋也<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学 医学部 血液呼吸器腫瘍内科  
<sup>2</sup>佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座  
<sup>3</sup>大原薬品工業

W9-2 DNA メチル化プロファイリングによる腫瘍起源の分類.....83

西尾 和人、デベラスコ マルコ、坂井 和子、倉 由吏恵  
近畿大学 医学部 ゲノム生物学

- W9-3 ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫に対するアレクチニブと DNA 脱メチル化剤の併用効果 .....84  
川副 和紀<sup>1</sup>、渡邊 達郎<sup>1</sup>、吉田 奈央<sup>1</sup>、山本 雄大<sup>1</sup>、倉橋 祐樹<sup>2</sup>、城戸口 啓介<sup>1</sup>、嬉野 博志<sup>1</sup>、蒲池 和晴<sup>1</sup>、木村 晋也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学医学部  
<sup>2</sup>大原薬品工業
- W9-4 経口脱メチル化剤 (OR-2100) は高悪性度 B 細胞性リンパ腫 (Double hit lymphoma) の増殖を抑制する .....84  
城戸口 啓介<sup>1,2</sup>、山本 雄大<sup>1</sup>、倉橋 祐樹<sup>1,2</sup>、渡邊 達郎<sup>2</sup>、木村 晋也<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科  
<sup>2</sup>佐賀大学医学部 創薬科学共同研究講座
- W9-5 SMARCB1 欠損がんにおける複数因子同時阻害法を用いた合成致死標的の同定 .....85  
佐々木 麻里子、荻原 秀明  
国立がん研究センター研究所

6月21日 (金) 10:55-11:50

第2会場 (4F ホールA)

## ワークショップ11

## がんの浸潤・転移

- 【モデレーター】 櫻井 宏明 (富山大学学術研究部薬学・和漢系 がん細胞生物学)
- W11-1 新規 p53 標的遺伝子 ID3 は肺がん転移を抑制する .....88  
長坂 真衣<sup>1,2</sup>、片山 量平<sup>1</sup>、井上 靖道<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部  
<sup>2</sup>名古屋大学 大学院薬学研究科 細胞情報学
- W11-2 CAF によって誘導される膀胱がん細胞の SUSD2 は integrin 経路を制御してがん細胞の浸潤能を増強する .....88  
吉田 潤次郎<sup>1</sup>、百瀬 功<sup>2</sup>、大石 智一<sup>1,2</sup>、大庭 俊一<sup>2</sup>、立田 大輔<sup>1</sup>、川田 学<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>微生物化学研究所 第1生物活性研究部  
<sup>2</sup>微生物化学研究所 沼津支所・動物施設
- W11-3 Luminal 乳がん骨転移における c-jun の機能解析 .....89  
中山 淳<sup>1,2</sup>、仙波 憲太郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪国際がんセンター研究所 腫瘍増殖制御学部  
<sup>2</sup>早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科
- W11-4 TGF- $\beta$  経路は CSRP2 の発現を介してデスマイド腫瘍の形成を促進する .....89  
青木 正博<sup>1,2</sup>、武藤 誠<sup>3</sup>、藤下 晃章<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>愛知県がんセンター研究所 がん病態生理学分野  
<sup>2</sup>名古屋大学医学系研究科 がん病態生理学分野  
<sup>3</sup>京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT)
- W11-5 RSK-EphA2 経路の非定型的活性化におけるストレス応答キナーゼ p38 と MK2 の寄与 .....90  
周 越<sup>1</sup>、横山 悟<sup>1</sup>、矢野 聖二<sup>2</sup>、櫻井 宏明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>富山大学 大学院総合医薬学研究科 がん細胞生物学  
<sup>2</sup>金沢大学 医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学

6月21日 (金) 12:00-13:00

第2会場 (4F ホールA)

ランチョンセミナー5

変異蓄積と選択圧による治療残存細胞から耐性細胞への進化

【モデレーター】 各務 博 (埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科)

LS5 変異蓄積と選択圧による治療残存細胞から耐性細胞への進化

片山 量平

がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部

【共催】 MSD株式会社

6月21日 (金) 14:05-14:35

第2会場 (4F ホールA)

State-of-the-Art Technology Seminar 4

生体内合成化学治療

【モデレーター】 旦 慎吾 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター 分子薬理部)

SAT4 生体内合成化学治療.....50

田中 克典<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京工業大学 物質理工学院 応用化学系

<sup>2</sup>理化学研究所 開拓研究本部

6月21日 (金) 14:35-15:30

第2会場 (4F ホールA)

ワークショップ13

新規抗がん物質とその作用機序

【モデレーター】 掛谷 秀昭 (京都大学大学院薬学研究科創発医薬科学専攻 システムケモセラピー (制御分子学) 分野)

W13-1 制がん性グアニン四重鎖リガンドによるアルギニンメチル基転移酵素 CARM1 の発現抑制.....93

岡部 幸子<sup>1</sup>、新家 一男<sup>2</sup>、長澤 和夫<sup>3</sup>、清宮 啓之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(公財) がん研究会 がん化学療法センター 分子生物治療研究部

<sup>2</sup>産業技術総合研究所 生命工学領域 創薬基盤研究部門

<sup>3</sup>東京農工大学 工学研究院生命機能科学

W13-2 スプライシング阻害剤が抗がん活性を発揮するメカニズムの解析.....93

甲斐田 大輔

富山大学 医学部

W13-3 新規 CDK 阻害剤 Azalamellarin 4 による細胞選択的な抗がん分子機序の解析 .....94

大橋 愛美<sup>1</sup>、福田 勉<sup>2</sup>、岡村 睦美<sup>1</sup>、西谷 直之<sup>3</sup>、旦 慎吾<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(公財) がん研究会・がん化療セ・分子薬理

<sup>2</sup>長崎大・工・物質科学・有機生命化学

<sup>3</sup>岩手医科大・薬・臨床薬学・情報薬科学

W13-4 骨髄異形成症候群における血小板減少症治療薬の探索・同定.....94

小林 大貴<sup>1</sup>、林 嘉宏<sup>1,2</sup>、吉田 稔<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東京薬科大学 生命科学部 腫瘍医科学研究室

<sup>2</sup>立命館大学 薬学部 腫瘍病態制御学研究室

<sup>3</sup>理研環境資源科学研究センター ケミカルゲノミクス研究グループ

W13-5 がん幹細胞を標的としたレノレマイシンの同定・作用機序.....95

池田 拓慧<sup>1</sup>、井本 正哉<sup>2</sup>、掛谷 秀昭<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院 薬学研究科

<sup>2</sup>順天堂大学大学院 医学研究科

## ワークショップ15

## 代謝制御と発がん

【モデレーター】 富田 章弘 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター ゲノム研究部)

- W15-1 アミノ酸欠乏環境で高発現するがん特異的代謝遺伝子の発現制御機構の解明.....98  
 小野寺 威文<sup>1</sup>、大庭 俊一<sup>1</sup>、川田 学<sup>2</sup>、百瀬 功<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>(公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所  
<sup>2</sup>(公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 第1生物活性研究部
- W15-2 肺がん細胞株におけるグルタミナーゼ阻害剤とシスプラチンとの合成致死機構の解析.....98  
 岡本 有加、富田 章弘  
 公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部
- W15-3 成人 T 細胞白血病/リンパ腫の発がんにおけるアミノ酸輸送体 SLC7A5 の過剰発現の意義.....99  
 渡邊 達郎<sup>1</sup>、倉橋 祐樹<sup>1,2</sup>、蒲池 和晴<sup>1,3</sup>、山本 雄大<sup>3</sup>、川副 和紀<sup>1,3</sup>、末岡 榮三朗<sup>4</sup>、木村 晋也<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学 創薬科学共同研究講座  
<sup>2</sup>大原薬品工業株式会社  
<sup>3</sup>佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科  
<sup>4</sup>佐賀大学 医学部 臨床検査医学講座
- W15-4 NASH 由来肝細胞癌におけるクッパー細胞糖代謝変化の検証.....99  
 猪俣 陽介<sup>1</sup>、谷口 高平<sup>2</sup>、有馬 純<sup>1</sup>、赤尾 幸博<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学教室  
<sup>2</sup>大阪医科薬科大学 TR部門  
<sup>3</sup>岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
- W15-5 癌予後マーカーの開発と高感度化へ資する独自抗体について.....100  
 本間 美和子  
 福島県立医科大学 医学部 生体物質研究部門

6月21日 (金) 10:00-10:55

第3会場 (3F Room1)

## ワークショップ10

## 発がん機構・がん遺伝子・がん抑制遺伝子 I

【モデレーター】 野口 耕司 (東京理科大学薬学部 薬学科)

- W10-1 胃がん全ゲノム解析による染色体外 DNA 解析 .....85  
柴田 龍弘<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京大学 医科学研究所 ゲノム医科学分野  
<sup>2</sup>国立がん研究センター研究所 がんゲノミクス研究分野
- W10-2 APC 変異細胞は染色体異常を起こしてがん化能を獲得する .....86  
川崎 善博<sup>1,2,4</sup>、林 昭子<sup>1</sup>、酒井 晶子<sup>1</sup>、徳重 直子<sup>1</sup>、笹川 翔太<sup>3</sup>、中川 英刀<sup>3</sup>、清末 優子<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup>理化学研究所 生命機能科学研究センター  
<sup>2</sup>東京大学 定量生命科学研究所  
<sup>3</sup>理化学研究所 生命医科学研究センター  
<sup>4</sup>関西医科大学 附属光免疫医学研究所  
<sup>5</sup>関西医科大学 附属生命医学研究所
- W10-3 TGF- $\beta$  による claudin4 遺伝子発現制御機構の解析 .....86  
高橋 光花<sup>1</sup>、中野 なおこ<sup>1</sup>、鯉沼 代造<sup>2</sup>、宮園 浩平<sup>3,4</sup>、伊東 進<sup>1</sup>、田代 悦<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup>昭和薬科大学 生化学研究室  
<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学分野  
<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科 応用病理学  
<sup>4</sup>理化学研究所生命医科学研究センター がん浸潤・転移研究チーム
- W10-4 大腸癌 PARD6B-MYC axis を介した癌悪性形質の制御機構の解明 .....87  
廣瀬 皓介、増田 隆明、渋谷 祥平、三森 功士  
九州大学病院別府病院 外科
- W10-5 小胞体ストレス下における HER3 の発現制御を介した HER2 シグナル抑制機構 .....87  
大塚 美紅<sup>1,2</sup>、岡本 有加<sup>1,2</sup>、富田 章弘<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部  
<sup>2</sup>東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻

6月21日 (金) 10:55-11:50

第3会場 (3F Room1)

## ワークショップ12

## 発がん機構・がん遺伝子・がん抑制遺伝子 II

【モデレーター】 筆宝 義隆 (千葉県がんセンター研究所)

- W12-1 GGCT の阻害は c-Met の発現抑制を介してがん抑制遺伝子 RB を活性化し、がん細胞の増殖を抑制する .....90  
谷口 恵香<sup>1</sup>、堀中 真野<sup>1</sup>、中田 晋<sup>2</sup>、酒井 敏行<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都府立医科大学 医学研究科 創薬医学  
<sup>2</sup>京都薬科大学 臨床腫瘍学分野
- W12-2 FGFR シグナル伝達の不活性化を介したダブルネガティブ前立腺癌に対する RUNX ファミリーの包括的制御戦略 .....91  
増田 達哉<sup>1</sup>、渡部 隆義<sup>1</sup>、尾崎 俊文<sup>1</sup>、杉山 弘<sup>2</sup>、上久保 靖彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉県がんセンター研究所 発がん制御研究部  
<sup>2</sup>京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点
- W12-3 扁平上皮癌における p63 を標的とするがん分子標的薬治療の探索 .....91  
六代 範<sup>1</sup>、大和田 竜司<sup>1</sup>、矢澤 理麻<sup>1</sup>、中嶋 理名<sup>1</sup>、鈴木 佑香<sup>1</sup>、毛利 彩華<sup>1</sup>、調 憲<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>群馬大学大学院医学系研究科  
<sup>2</sup>群馬大学附属病院総合外科センター

- W12-4 **MYCN 遺伝子座における OCT4 結合阻害は ORF ドミナンス高値を示す RNA の発現低下を伴う神経芽腫細胞死を誘導する**.....92  
 中谷 一真<sup>1,2</sup>、筆宝 義隆<sup>1,2,3</sup>、末永 雄介<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学医学薬学府  
<sup>2</sup>千葉県がんセンター・進化腫瘍学研究室  
<sup>3</sup>千葉県がんセンター・精密腫瘍モデル研究室
- W12-5 **γ-aminobutyric acid (GABA)による乳がん発生の抑制**.....92  
 伊東 潤二、田中 直、戸井 雅和  
 京大院・医・乳腺

6月21日 (金) 12:00-13:00

第3会場 (3F Room1)

## ランチョンセミナー6

## がん創薬を促進する最新の研究ソリューション (タンパク質発現解析から3D培養まで)

【モデレーター】 多田 誠一 (株式会社スクラム)

LS6 **がん創薬を促進する最新の研究ソリューション (タンパク質発現解析から 3D 培養まで)**服部 徹  
株式会社スクラム

【共催】 株式会社スクラム

6月21日 (金) 14:35-15:30

第3会場 (3F Room1)

## ワークショップ14

## 腫瘍増殖・細胞死の制御

【モデレーター】 田中 伸哉 (北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室)

W14-1 **転写因子 SOX10 は核内受容体 RXR $\gamma$  の発現調節を介してメラノーマの増殖を制御する**.....95石塚 葉奈、周 越、櫻井 宏明、横山 悟  
富山大学 大学院総合医薬学研究科 がん細胞生物学W14-2 **新規イオンクラスター Ag5 による細胞死誘導メカニズムの解明**.....96鎌田 諒<sup>1</sup>、曾我 朋義<sup>2</sup>、大橋 紹宏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立がん研究センター 先端医療開発センター 共通研究開発分野  
<sup>2</sup>慶應義塾大学 先端生命科学研究所W14-3 **活性化がん遺伝子によるシスチン/システイン代謝制御とフェロトーシス感受性**.....96野田 智幹<sup>1,2</sup>、白濱 仁深<sup>1</sup>、富田 章弘<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>(公財)がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部  
<sup>2</sup>東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻W14-4 **クルクミンアナログ PGV-1 および CCA1.1 は MYCN 増幅神経芽腫において JNK を介したアポトーシスを誘導する**.....97ザルフィン ウミ<sup>1</sup>、中谷 一真<sup>1</sup>、武藤 大将<sup>1</sup>、筆宝 義隆<sup>1,2</sup>、末永 雄介<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉県がんセンター 研究所 進化腫瘍学研究室  
<sup>2</sup>千葉県がんセンター 研究所 精密腫瘍モデル研究室W14-5 **トリプルネガティブ乳癌における Stimulator of Interferon Genes 発現の予後への影響**.....97前田 哲代、山下 奈真、上野 貴之  
がん研究会有明病院 乳腺センター



## ワークショップ16

## イメージング・新規創薬標的

【モデレーター】 清水 史郎 (慶應義塾大学理工学部 応用化学科)

- W16-1 近赤外光免疫療法の効果モニタリングのための造影超音波イメージング；マイクロサイズの EPR 効果の発見**.....100  
 佐藤 和秀<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科  
<sup>2</sup>最先端イメージング分析センター／医工連携ユニット  
<sup>3</sup>名古屋大学高等研究院
- W16-2 FOXO3a 局在のイメージング化によるがん細胞増殖阻害物質 violaceoid F の単離と作用機作解析**..101  
 渡辺 信元<sup>1</sup>、室井 誠<sup>1</sup>、吉田 稔<sup>2</sup>、長田 裕之<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>理研環境資源科学研究センター化合物リソース開発研究ユニット  
<sup>2</sup>理研環境資源科学研究センターケミカルゲノミクス研究グループ  
<sup>3</sup>静岡県立大薬学部
- W16-3 膠芽腫治療薬としての LPAR1 アンタゴニストの可能性**.....101  
 高木 聡<sup>1</sup>、小池 清恵<sup>1</sup>、竹本 愛<sup>1</sup>、片山 量平<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部  
<sup>2</sup>東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- W16-4 トリプルネガティブ乳癌におけるグルタミン代謝のマスターレギュレーター, 膜内在型プロテアゼ RHBDL2 の創薬開発**.....102  
 松下 洋輔<sup>1,2</sup>、小松 正人<sup>2</sup>、吉丸 哲郎<sup>2</sup>、片桐 豊雅<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医薬基盤・健康・栄養研究所 生体機能分子制御プロジェクト  
<sup>2</sup>徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野
- W16-5 オートファジーに着目した膵癌における ZKSCAN3 の機能解析**.....102  
 野々山 敬介、松尾 洋一、村瀬 寛倫  
 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学